

仕様伺書

対象形式: JRQ2

お客様記入		弊社記入		営業部門	
形式		JOB No.		承認	作成
貴社名		機番	—		
お名前		営業担当			
注番					

各設定項目に対して標準設定値から変更がある場合、設定可能範囲でご指定下さい。
標準設定値とは、一切のご指定がないときの値です。

■変換器設定項目

項目名称	出荷時設定値	標準設定値	備考
入力の種類	<input type="checkbox"/> オープンコレクタ <input type="checkbox"/> 電圧パルス <input type="checkbox"/> RS422 ラインドライバ・パルス	オープンコレクタ	指定なき場合は、オープンコレクタとなります。
入力振幅 (電圧パルスのみ記入)	Vp-p	—	これらの数値は、入力信号波形を正確に把握するために必要なものです。
DC オフセット値 (電圧パルスのみ記入)	V	—	端子間最大入力電圧は 50 V です。
検出レベル (0 ~ 5 V) (電圧パルスのみ記入)	V	—	0 ~ 5 V の範囲でご指定できます。 指定される場合は、「検出レベルの設定について」の項を確認してご指定下さい。 指定なき場合は、入力振幅、DC オフセットの値より弊社で設定します。
ノイズフィルタ (電圧パルス、オープンコレクタのみ記入)	<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> ノイズフィルタ大は入力周波数が ± 10 Hz 以内でご使用可能です。 ノイズフィルタ小は入力周波数が ± 500 Hz 以内でご使用可能です。
カウントモード	<input type="checkbox"/> B 相片エッジでカウント (1 カウント / 入力 1 パルス) <input type="checkbox"/> B 相両エッジでカウント (2 カウント / 入力 1 パルス) <input type="checkbox"/> A、B 相両エッジでカウント (4 カウント / 入力 1 パルス)	B 相片エッジ毎	「カウントモードについて」をご参照下さい。 「B 相両エッジでカウント」、「A、B 相両エッジでカウント」をご指定された場合、実際の入力パルス数と入力カウント数が異なりますのでご注意ください。
入力ゼロカウント Cz (-99999999 ≤ Cz < Cs)	Counts	0 Counts	入力 0 % に相当するカウント数を指定して下さい。 (-99999999 ≤ Cz < Cs) -99999999 (逆転 99999999 カウント) ≤ (入力ゼロカウント: Cz) < (入力スパンカウント: Cs) の範囲でご指定下さい。
入力スパンカウント Cs (Cz < Cs ≤ 99999999)	Counts	1000 Counts	入力 100 % に相当するカウント数を指定して下さい。 (Cz < Cs ≤ 99999999) (入力ゼロカウント: Cz) < (入力スパンカウント: Cs) ≤ 99999999 (正転 99999999 カウント) の範囲でご指定下さい。
警報モード	<input type="checkbox"/> 上限警報 <input type="checkbox"/> 下限警報 <input type="checkbox"/> 警報なし	上限警報	警報を使用する場合は、上限または下限警報を指定して下さい。
警報検出レベル (-15.00 ~ +115.00 %)	%	100.00 %	警報を使用する場合は、-15 ~ +115 % の範囲でご指定下さい。
警報検出レベルのヒステリシス (0.00 ~ 20.00 %)	%	1.00 %	警報を使用する場合は、0 ~ 20 % の範囲でご指定下さい。

項目名称	出荷時設定値	標準設定値	備考
電源投入後警報動作までの時間設定 (2.0 ~ 1000.0 秒)	秒	3 秒	電源投入後、警報が動作するまでの時間を設定します。 警報を使用する場合は、2.0 ~ 1000.0 秒の範囲でご指定下さい。指定なき場合は、3 秒となります。
電源 OFF 時の入力カウント数保持	<input type="checkbox"/> 電源 OFF 時に入力カウント数を保持しない (コールドスタート) <input type="checkbox"/> 電源 OFF 時に入力カウント数を保持する (ホットスタート)	電源 OFF 時に入力カウント数を保持しない (コールドスタート)	電源断直前のカウント数を保持するか、保持しないか(初期値 0 に戻す)を設定します。

■出力リニアライズに関する項目(リニアライズが必要な場合のみ<記入例>の様に記入して下さい。)

入力信号(カウント)		出力信号()		入力信号(カウント)		出力信号()	
X(01)		Y(01)		X(11)		Y(11)	
X(02)		Y(02)		X(12)		Y(12)	
X(03)		Y(03)		X(13)		Y(13)	
X(04)		Y(04)		X(14)		Y(14)	
X(05)		Y(05)		X(15)		Y(15)	
X(06)		Y(06)		X(16)		Y(16)	
X(07)		Y(07)					
X(08)		Y(08)					
X(09)		Y(09)					
X(10)		Y(10)					

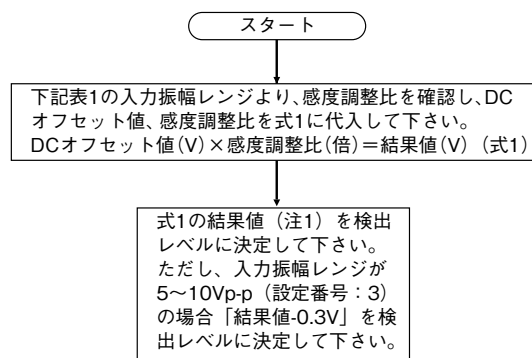
(データは % でも可)

<記入例>

X(01)	0(カウント)	Y(01)	4.00 (mA)	X(09)	80(カウント)	Y(09)	17.58 (mA)
X(02)	10	Y(02)	6.37	X(10)	90	Y(10)	18.81
X(03)	20	Y(03)	8.42	X(11)	100	Y(11)	20.00
X(04)	30	Y(04)	10.25	X(12)		Y(12)	
X(05)	40	Y(05)	11.92	X(13)		Y(13)	
X(06)	50	Y(06)	13.47	X(14)		Y(14)	
X(07)	60	Y(07)	14.92	X(15)		Y(15)	
X(08)	70	Y(08)	16.28	X(16)		Y(16)	

■検出レベルの設定について

検出レベルを設定する際は、下記のフローチャートに従って設定して下さい。ただし、入力の種類は電圧パルスが対象となります。



注1、小数点第2位以下は四捨五入します。

●表 1

ロータリスイッチの設定番号	入力振幅レンジ(Vp-p)	感度調整比(倍)
0	50 ~ 100	1/20
1	25 ~ 50	1/10
2	10 ~ 25	1/5
3	5 ~ 10	1/2
4	1 ~ 5	1/1
5	0.5 ~ 1	5
6	0.1 ~ 0.5	10
7	オープンコレクタ	1/1

入力振幅レンジ設定用ロータリスイッチを設定することにより、回路内部で入力振幅が感度調整されます。感度調整後の入力振幅を検出レベル電圧(0 ~ 5 V)で検出します。

感度調整後の入力信号 H レベル電圧が検出レベルと同じか、それ以下の場合は動作しません(検出しません)のでご注意ください。

●入力振幅レンジ、検出レベル設定例(DC オフセット値は入力振幅/2 とする。)

入力振幅(Vp-p)	入力振幅レンジ(Vp-p)	検出レベル(V)
50	50 ~ 100	1.3
50	25 ~ 50	2.5
30	25 ~ 50	1.5
25	10 ~ 25	2.5
15	10 ~ 25	1.5
10	5 ~ 10	2.2(2.5 - 0.3)
7.5	5 ~ 10	1.6(1.9 - 0.3)
5	1 ~ 5	2.5
3.5	1 ~ 5	1.8
2	1 ~ 5	1
1	0.5 ~ 1	2.5
0.5	0.1 ~ 0.5	2.5

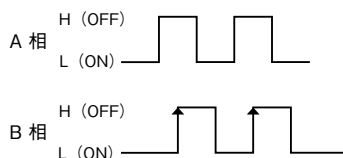
端子間最大入力電圧は 50 V です。

入力振幅が 100 Vp-p の電圧パルスの本器に入力する場合、DC オフセット値は 0 V として下さい。

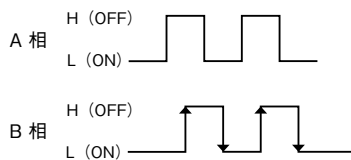
■カウントモード (ITEM 11) について

機能: 入力パルスカウント方法を設定することが可能です。

- ・1カウント/入力1パルス (B相片エッジ毎)
下図のようにB相の矢印のエッジでのみカウントします。



- ・2カウント/入力1パルス (B相両エッジ毎)
下図のようにB相の両エッジでカウントします。



- ・4カウント/入力1パルス (A、B相両エッジ毎)
下図のようにA、B相の両エッジでカウントします。

